

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38512
事業名	道路等災害復旧費(都市防災推進)					
評価担当課	所属	建)土木部 道路課			電話番号	011-211-2617
施策名	地震災害や風水害・雪害といった自然災害や感染症の感染拡大など					
アクションプラン	● 対象		○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費		● 臨時的経費		○ 内部管理	
	○ 直営		● 一部委託		○ 法定経費	
	○ 全部委託		○ 補助・助成		○ 指定管理費	
	○ 全部委託		○ その他			

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	平成30年北海道胆振東部地震により、清田区など札幌市内の複数の盛土造成地において液状化や地盤の滑動などが発生し、道路や公園、宅地等に被害が生じた。このため、特に被害が集中した地区において、道路や公園等の公共施設を復旧し、加えて、同様の地震被害を繰り返し発生させないための対策として盛土地盤の安定化を図る。 【対策地区】里塚霊園隣接地区(令和2年度対策完了)、美しが丘地区(令和5年度対策完了)、月寒東地区(令和5年度対策完了)、清田中央地区
	事業内容(何を実施し)	被災した公共施設の復旧に加えて、同規模の地震が発生した際の被害の低減を図るため、各地区の被災メカニズムに応じた対策を実施する。 令和5年度は、令和4年度に地下水位低下作業を実施した美しが丘地区及び月寒東地区において、地下水位低下の効果検証を行い、地震被害抑制効果を確認し対策が完了した。また、月寒東地区では、道路の段差抑制対策及び舗装復旧工事を実施した。清田中央地区では、地下水位低下作業を実施し、地下水位の低下を確認したが、一部エリアで地下水位低下の高止まりが発生したため、その原因の調査及び追加対策の検討を実施した。 令和6年度は、清田中央地区の追加対策が必要となったエリアにおける調査及び対策工事の設計を実施した。また、同地区の対策が完了したエリアについては、事業損失防止調査を実施した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	対策の実施により、被災した道路等の機能確保や安全確保に加えて、盛土地盤の安定性が向上し地震時の被害の抑制が図られる。
	他都市の状況	東日本大震災や熊本地震、北海道胆振東部地震により被災した自治体において、公共施設や宅地における地震被害抑制のための対策が行われている。
	市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外

令和5年度決算額	179,534 千円	うち特定財源	135,000 千円	正規職員業務量	2 人工
令和6年度予算額	157,000 千円	うち特定財源	99,000 千円	正規職員業務量	2 人工
令和6年度決算額	145,394 千円	うち特定財源	99,000 千円	正規職員業務量	2 人工
令和7年度予算額	200,000 千円	うち特定財源	175,000 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	対策完了地区数(全4地区)		という活動、業務を行うことで			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		2地区(計3地区)	1地区(計4地区)	0地区(計3地区)	1地区(計4地区)		
	アウトカム成果指標1	盛土地盤の安定性が向上した地区数(全4地区)		という状態にしたい、成果を挙げたい			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		2地区(計3地区)	1地区(計4地区)	0地区(計3地区)	1地区(計4地区)		
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	清田中央地区の一部エリアにおいて追加対策が必要となったため。追加対策工事を行い、地震被害抑制のための対策を進める。					
	アウトプット活動指標2			という活動、業務を行うことで			
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
アウトカム成果指標2			という状態にしたい、成果を挙げたい				
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	引続き、地震被害抑制のための対策を進める。						